

事案名	女川町の事案（宮城県４－１）
分類	発見・被災・掃海等処理
資料	・「宮城県女川港における爆発物等の調査処分について（報告）」〔１〕
資料内容概要	<p>地元のレジャーダイバーが砲弾を発見し、自衛隊が調査、引揚げ後、黄色泡状のガスが噴出し始め刺激臭が混同していたため、地元との協議により、木箱にコンクリート詰めにし、建設中の岸壁付近の土中に埋められた。</p> <p>発見・被災・掃海等処理情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昭和５２年７月３１日に、地元のレジャーダイバーが砲弾を発見したとの情報から自衛隊が出動した。８月７日に調査したところ、物件は米軍の３００ポンド爆弾に似ているが、引き上げ後、破口部から黄色泡状のガスが噴出し始め、重油の中に、からしに似た刺激臭が混同していた。地元と協議し、木箱にコンクリート詰めにし、建設中の岸壁付近の土中に埋めた〔１〕。